



次回例会のご案内

是非ご出席ください！ 課題を共有しませんか？

日時▶ **4月4日(月)** 午後7時~9時
会場▶ **愛宕町教会**
奨励▶ **小島 章弘 牧師** (愛宕町教会協力教師)
発題▶ **「ひかりの子」**

メインスピーカー

渡邊美南子氏 (ひかりの家学園学園長・市川教会員)

サブスピーカー

山下 滋夫氏 (ひかりの家学園理事長・市川教会員)

3ページより続き

より一斉に教科書に記述されましたが、その後記述がなくなりました。なぜ「慰安婦」記述が無くなったのか？ なぜ中学生に教えることが必要なのか？などのテーマでパネルを作って発表しました。

このことについて、被害者女性たちはなにを望んでいるのでしょうか。二人を紹介します。映画「オレの心は負けていない」の主人公である宋神道さん(在日韓国人で当時16歳)は、「子どもたち、教科書見て、最初から悪いことしないようにしなければならないのに、記述をなくしてしまうのはダメ。忘れることができないんだよ。日本人のやったこと」と言い、姜日出さん(当時16歳)は、「昔の世代がしてしまったことを、今の若い世代までまだ引きずっているのが、とても心が痛いです。間違えたことを、しっかり認めてこれから韓国と日本が争わない、戦争の無い関係にしてほしいです。お互いに助け合って、生きていけたら、どんなに嬉しいことだろう。私たちの世代で終わらせないといけなのだから」と言っています。

国際社会からの目、国内外の動きはどうなっているのでしょうか。1996年、国連人権委員会は日本政府の法的責任を検討し、賠償・真相究明・謝罪・教育・責任者処罰など6項目を勧告し、ILO専門委員会は日本政府に適切な処置を勧告しています。1999年、国連人権小委員会が武力紛争下の性暴力に関し個人請求権と国家責任は条約や2国間協定で消滅せずと決議しました。2009年、国連女性差別撤廃委員会が補償や教育を含む最終解決を日本政府に勧告しています。

2010年2月、山梨日日新聞の「現論」に、韓国・世宗大教授朴裕河女史(1957年生まれ、慶応大学卒、

早稲田大学大学院博士課程終了、日本文学研究者)が寄稿しています。『日韓併合』から100年目の2010年を迎えて、天皇の訪韓、併合100年での首相談話等、日韓の新たな関係発展のための模索がなされている一方、ソウルの日本大使館前では今でも毎週一度慰安婦問題解決を促す集会が開かれている。18年目を迎え900回を超えるその集会に対して何らかの対応が今こそ必要と思う。慰安婦問題発生後、日本がアジア女性基金を作り、この問題に対する『謝罪と補償』をしてきたことを知らない訳ではない。このような日本の対応はもっと評価されるべきであろう。しかし被害者・関係者たちの多くは日本の努力を『国家謝罪』でないと退け、立法による補償を求めてきた。問題は、日本なりの努力が韓国には殆ど知られず、結果として現在においてもなお韓国国民の殆どが『日本は謝罪も補償もしていない』と考えているということにある。未だ慰安婦問題は解決されていないという現実を、日本は今一度直視すべきではないだろうか。関係者たちを挟んでの対話が必要だ。世界の共通認識化した『謝罪も補償もしていない』日本像が払拭されるなら、そこで初めて『天皇訪韓』も帝国の世紀を乗り越えて新しい100年をひらく契機となり得ると思うのである」(要旨)。

★

暴力の最たる「戦争」が根絶される時こそ、平和な世界が実現し、日本のいや「世界の」宝である憲法9条を守ることこそ、今「わたしたちにできること」ではないでしょうか。

☆聖書を読みますと、教会の働きにおいて女性が活躍している記事を目にします。今回の発題においても女性の活躍、しかも女性独特の視点から偉大な働きが早くからなされてきている事に脱帽です。改めてキリスト教が社会的運動においても先導的役割を担ってきた事に誇りをもち、地の塩・世の光となることを促されました。(清藤記)



Tomosibi

灯

山梨県キリスト教連絡会

2009年10月設立 代表:小島章弘

事務所▶〒400-0024 甲府市北口3-4-23 日本基督教団 愛宕町教会内 Tel 055-253-3150

NEWS LETTER N0.8

奨励:「見守った婦人たち」(聖書:マルコによる福音書 第15章33節~41節) 大矢真理 牧師



米ではクリスマスより、イースターの時に電飾を飾り、イースターをお祝いするということを本で読んだことがあります。

キリスト教信仰の真髄は、キリストの十字架の出来事と復活です。パウロもコリント教会に宛てた手紙の中で、最も大切なことを伝えています。「キリストが、聖書に書いてあるとおりにわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。次いで、五百人以上もの兄弟たちに同時に現れました。次いで、ヤコブに現れ、その後すべての使徒に現れ、そして最後に、月足らずで生まれたようなわたしにも現れました」(15:3~8)。

私達の罪のために十字架上で死なれた、キリスト教信仰の根幹をなす出来事の時、どのような状況であったのでしょうか。マルコによる福音書に「また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。この婦人たちは、イエスがガリラヤにおられたとき、イエスに従って来て世話をしていた人々である。なおそのほかにも、イエスと共にエルサレムへ上って来た婦人たちが大勢いた」(15:40~41)と記されておりするように、十字架の出来事を遠くから見守っていたのは、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメ、そしてイエスと共にエルサレムへ上って来た婦人たちでした。

主イエスがこれと思って呼び寄せられた弟子達は、十字架の出来事の時、どうしていたのでしょうか。マルコによる福音書によりますと、「弟子たちは皆、イエスを見捨てて逃げてしまった。一人の若者が、素肌に亜麻布をまといイエスについて来ていた。人々が捕らえようとする、と、亜麻布を捨てて裸で逃げってしまった」(14:50~52)。

十二弟子の1人、イスカリオテのユダは、「イエ

スを引き渡そうとして、祭司長たちのところへ出かけて行った」(14:10)。

男の弟子達は逃げ出した者と、裏切った者でした。筆頭弟子のペトロは大祭司邸まで行きましたが、遠くから眺め、お前はイエスの仲間だろうと詰問されると、保身に走り、イエスを知らないと言捨ててしまったのです。それに対して婦人たちは、恐れながらも主イエスの後に従い、刑場までやってきて、遠くからではありますが、十字架の出来事を見守りました。

古代社会のパレスチナ地域では、女性が蔑視されていました。数えられる対象にもならなかったのです。出エジプトの出来事の時、エジプトのラメセスを出発したユダヤ人は、およそ60万人でしたが、妻子は含まれておりません。5,000人に食べ物を与えた時も、聖書には男が5,000人。マタイによる福音書によると4,000人に食べ物を与えた時は、女と子どもを別にした4,000人となります。男の数しか数えられない時代、女性が蔑視されていた古代社会において、主イエスは女性をも尊敬し弟子として認めていたのです。

主イエスに従うことは、逃げ出した弟子達と同じように彼女達の身にも危険はあったはずですが、しかし、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、サロメをはじめ大勢の婦人たちは十字架の出来事を見守りました。女性はやさしさとともに、強さをもっていると感じます。

教会が建てられている地域性や、規模の大小を問わず、教会の中心的な働き手は婦人会の方々であると言えますが、十字架の証人は十二弟子達ではなく、婦人達であったのです。十字架の出来事の証人となった婦人たちは、主イエスの遺体が、墓に収められた時にも「マグダラのマリアとヨセの母マリアとは、イエスの遺体を納めた場所を見つめていた」(15:4)とあります。そして、主イエスは、「週の初めの日の朝早く、復活して、まずマグダラのマリアに御自身を現された」(16:9)。「キリストが、聖書に書いてあるとおりにわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに三日目に復活したこと、」(15:3~4)。

パウロがコリント教会にしたための手紙の中で最も大切なことであるとした、十字架の死、葬り、復活の証人となったのは、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、サロメをはじめ大勢の婦人たち、主の十字架を見守った女性達だったのです。

私達も十字架の出来事を、身に及ぶかもしれない不安、危険を顧みず、その最後まで証人として従ったこの婦人たちのような、強い心を持つことが出来るように、願いたいものです。

第8回例会 発題報告

矯風会活動と慰安婦問題

森川 茂子氏（女性の人権サポート・くろーば一代表、矯風会会員、山梨八代教会員）

1. 矯風会本部の歩みから紹介します。

矯風会は、正式にはWWCTU（世界女性キリスト者禁酒同盟）と言います。日本ではJWCTUとなりますが、発祥の地はアメリカです。19世紀に入ると、アメリカでは独立後安価な蒸留酒の供給により、過度な飲酒という深刻な社会問題がひきおこされるようになりました。女性キリスト者禁酒同盟2代目会長フランシス・ウィラードの指導の下、多くの女性がこの禁酒運動に参加し、酒屋を店じまいさせるなど次々と成果を挙げていきました。フランシス・ウィラードはノースウエスタン大学初の女性学部長でしたが、学部長としての高い社会的地位や高給、運動を理解しないフィアンセと別れ運動に専念しました。

次に日本です。WWCTUの特派員レビット夫人の来日に刺激を受けた40数名で日本基督教婦人矯風会が創立され、同年東京婦人矯風会が潮田千勢子他56名の会員をもって発足、初代会頭に矢島楯子が選ばれました。（当時56歳）。「禁酒会」ではなく「矯風会」としたのは、禁酒ばかりでなく社会の悪風を矯正する会という事を解りやすく表現するためでした。1886年12月6日の出来事です。以来12月6日を創立記念日としています。

矢島楯子は熊本県出身で酒乱の夫の暴力により心身衰弱で半分目が見えなくなるまで我慢しましたが、結婚10年で離婚。1872年、39歳で子供を残して上京し、学問を究め小学校教員を経て桜井女学校校長となり、後に女子学院の初代院長に就任しています。クリスチャンとなって1896年に日本基督教婦人矯風会会頭となり、廃娼運動に奔走、WWCTU世界大会や国際軍縮会議にも参加。生涯をキリスト教に基づいた女子教育・婦人運動に尽くしました。

矯風会の機関紙は1888年（明治21年）4月に創刊された『東京婦人矯風雑誌』が第1号です。現在は「婦人新報」として引き継がれ1月号で1324号となっています。

1893年（明治26年）39歳で夫と死別した潮田千勢子は5人の子供たちとともに上京し、子育てしながら学業に励みました。その傍ら東京婦人矯風会の発会式の発起人となり、矢島楯子らと共にリーダー格の運動を展開します。1901年、足尾銅山鉱毒事件が世に明らかになる中、田中正造の依頼を受けて矢島楯子らと共に現地に出向き、直ちに救済婦人会を組織して被害地で救済に当たり女性や子供たちを慈愛館に保護しました。神と人ともに仕えた千勢子の62歳の生涯は大勢の人たちに感動を与え、田中正造は弔辞を読みながら泣いたと言います。

矯風会重鎮の1人である久布白落実は、公娼制度廃止の機運が少数意見としてでも出てきた時こそ運動を

起こさなければならぬと思い、廃娼連合を立ち上げました。そして、1915年（大正5年）から1924年（大正13年）までの10年間の歩みを公娼制度全廃教育運動10年の歩みとして記録に残しました。矯風会は、戦後、公娼制度の復活さえ唱える人が出て婦女売春の罪に関わる勅令第9号が無効になりそうだった時、公娼制度復活反対の100万人署名を集めて抗議しました。この法律は後に衆参両院を通過し国内法になりました。

久布白落実は大伯母に矢島楯子、伯父に徳富蘇峰、蘆花をもち、女子学院を卒業した翌年両親のいるアメリカに渡り太平洋神学校に入学しました。1910年（28歳）に久布白直勝と結婚し、シアトルに住み男児2人を出産しました。滞米中日本人移民の実情を見て廃娼運動に目覚めたそうです。帰国後、夫と共に東京市民教会を創設しています。その後日本基督教婦人矯風会本部に入り総幹事となり活躍しました。彼女の実践した廃娼、売春禁止、人身売買禁止は、戦後、1956年『売春禁止法』となって実を結びました。1962年（80歳）に矯風会会頭に就任、同年神学校にも通い、83歳で日本基督教団正教師試験に合格しています。婦人参政権獲得運動に積極的に参加し1924年に市川房枝たちと婦人参政権獲得期成同盟に発展させました。

ガントレット恒子は女子学院で矢島楯子に学び教師となりました。1898年（25歳）イギリス人エドワード・ガントレットと結婚し英国籍を取得して日本最初の国際結婚となりました。その後、日本基督教婦人矯風会の活動に加わり力を注ぎました。戦前は廃娼運動、戦後は矯風会会頭に就任、婦人参政権獲得運動、及び平和運動に貢献しました。久布白落実同様矯風会重鎮の1人です。

矯風会の主な3つの活動は、「平和部」「性・人権部」「酒・たばこの害防止部」です。平和部の活動の一つに神学大学生招待会があります。当時は毎年春、神学大学を卒業し全国各地に伝道者として巣立っていく神学生を、一日矯風会に招いて祝福し、矯風会活動への理解と協力をお願いしました。これは現在も続けられています。大矢先生や小林先生からこの招待会に出席されたと伺いました。

矯風会はキリスト者平和会議にも出席しています。1965年3月、大阪で「第2回全国キリスト者平和会議」において、ベトナム問題に対する討議がおこなわれ、



5月23日に『ベトナムに平和を求めるキリスト者緊急会議』が鈴木正久牧師らの呼びかけで結成され、アメリカへ5人の特使を派遣。その1人に野々宮初枝（平和部部長）が選ばれています。

矯風会は女性自立支援のために3つの施設を持っています。最初に出来たのはシングルマザーを受け入れ支援している『慈愛寮』です。慈愛寮には1954年に高松宮が訪問されています。また、矯風会は地方の会員が中心となって女性や子供や学生達のための施設を運営しています。関連施設と呼んでいますが、秋田婦人ホーム、大阪婦人ホーム、神戸婦人寮、徳島婦人寮、高知学生ホーム、呉慈愛寮、徳島ベビーセンターなどです。2009年には、「女性の人権サポート・くろーば」のシェルターも関連施設となりました。

1969年に国会で靖国神社国営化法案が浮上した時、キリスト教会は結束して反対運動を展開しました。矯風会員も平和部が中心となって参加しました。平和部では1968年、ベトナム戦争が激化する中で『ベトナムに平和をもたらず会』に加わり、ベトナム北爆に抗議し、19の婦人団体とデモ行進をしています。

性・人権部は1980年コペンハーゲンで開催されたNGOフォーラムに参加し、観光売春根絶をアピールしました。

1970年に落成した第二会館は女子学生と勤労女性のための宿舎として使用され、現在は改築されて2000年から矯風会ステップハウスとなりました。

創立100周年記念事業として開設されたのが、アジアの出稼ぎ女性の駆け込みセンター「女性の家HELP」です。HELPとは、House in Emergency of Love and Peaceです。これは年間200名の利用者があります。性・人権部の活動としては、HELPの他に、子ども売春・子どもポルノ根絶への取り組み、戦時性暴力、慰安婦問題への取り組みがあります。

次に、酒・たばこの害防止部の活動について、千代田区路上禁煙条例に刺激を受けて、地元新宿でもポイ捨て拾いをはじめました。

矯風会ステップハウスは単身女性の自立のための短期宿泊施設です。6ヶ月滞在するなかで自立の道を模索します。2001年1月10日には、NHKの朝のニュース番組「おはよう日本」に当時の一色義子会長が出演して、ステップハウスについてお話されたところ、大きな反響がありました。そして、矯風会ステップハウスは昨年2010年、10周年を迎えました。皆様のご支援に心から感謝しています。

2. 山梨支部の歩み

《矯風会との出会いと「慰安婦」問題》

英和を退職した後、4年間勤めたキリスト教愛真高校退職記念に友人に誘われて参加したキリスト教婦人矯風会世界大会（WWCTU）のメルボルンで出会った世界の婦人たちの熱気に圧倒されて、初めて自分の中に「人権と平和の問題」が大きな比重を占めるようになってきました。日本キリスト教婦人矯風会について知るきっかけともなり、1996年に山梨支部を立ち上

げました。

矯風会は女性の性を売り物にする公娼制度全廃運動を皮切りに、婦人保護施設の設置や婦人の人権保護に関する法律案提出や売春防止法制定にも尽力し、戦後いち早く市川房枝らとともに慰安婦問題に取り組み、戦時中に起きた『性奴隷制度』について被害者の補償を訴え続けてきました。神様から与えられた、たった一つのかけがえのない命に寄りそって「人間の尊厳」、「生きる権利」を訴え続けて「人権と平和」を目指して脈々と活動が続けている矯風会の山梨支部として、この「慰安婦問題」に取り組んできた一端を発表いたします。

具体的な活動として以下のように「平和を願う山梨戦争展」への取り組みを行ってきました。

- ①第1回2000年平和を願う山梨戦争展に参加。「戦後補償」のコーナーを担当し、元慰安婦だった3名の方々の証言と韓国施設で暮らす方々（ナヌムの家のハルモニ達）の生活と彼女たちが描いた絵はがきを展示し、彼女たちの切々たる思いを伝えました。
- ②第2回2003年平和を願う山梨戦争展に参加。この時は2000年のようにテーマを持って参加しませんでした。広場に在韓被爆者援護募金箱と署名用紙を置いて協力を求め、19,640円の募金を矯風会本部に送金しました。また、『青年の広場』に矯風会の清水美穂さんが参加し、世話人として活躍しました。
- ③第3回2005年平和を願う山梨戦争展に参加。2000年12月8日、9日、10日、12日の4日間、東京で開催された「日本軍性奴隷制を裁くー2000年女性国際戦犯法廷一の記録」と1年後ハーグで開かれた判決の様子をパネルで展示しました。
- ④第4回2008年平和を願う山梨戦争展に参加。中学生のための「慰安婦」展を開催しました。元慰安婦トマサ・サリノグさん（フィリピン）は、1942年、13歳のときにパナイ島でヒロオカが父の首をはねた後拉致されました。彼女は2008年6月8日に山梨で開催された九条ミュージカル『ロラ・マシンの物語』の主人公です。この九条ミュージカルに参加した斉藤由紀さん（当時英和高校2年生）は『青年の広場』で次のように語りました。「戦争は人の命や故郷を奪うのはもちろんの事、尊厳さえも奪ってしまう。辛うじて生き長らえたとしても、一度尊厳を奪われた者は一生、生き地獄を味わわなければならない。私は先人たちの勇気と強さを忘れずに、戦争のない、平和な社会を築いていきたい」と。
- ⑤第5回2010年平和を願う山梨戦争展に参加。中学歴史教科書への「慰安婦」記述復活のための参加でした。「慰安婦」記述は、河野談話に

